

2 まえばし学校教育充実指針の全体像

学習指導要領

夢や希望を育む学校文化の創造

前橋市教育委員会
教育振興基本計画

多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供

【柱1】学校力を高める学校経営
～学校教育目標の達成に向けた
チームとしての学校づくり～

- 1 一人一人がチームの一員として
参画する学校づくりの推進
- 2 学校間の連携と
開かれた学校づくりの推進
- 3 ニーズに応じた校内体制づくり
の工夫
- 4 教職員の資質・能力の向上
- 5 安全・安心な学校づくりの徹底

【柱2】魅力あふれる教育活動
～未来の創り手となるために必要な資質
・能力を育む特色ある教育活動の展開～

- 6 学び続ける力の育成
- 7 豊かな人間性の育成
- 8 健康増進・体力の向上
- 9 自立性・社会性の育成

家庭・地域とつながる学校づくり

～学校を支援する前橋市教育委員会の取組～

各学校においては、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくことが求められています。

「まえばし学校教育充実指針」では、夢や希望を育む学校文化の創造に向け、目指す子供像とともに、それを支える取組として「学校力を高める学校経営」と「魅力あふれる教育活動」の2つの柱を立て、どちらの柱にも関わる必要不可欠のものとして「家庭・地域とつながる学校づくり」を土台に位置付けています。

令和7年度

まえばし学校教育充実指針【概要版】

「まえばし学校教育充実指針」は、前橋市教育委員会が公教育として前橋の学校教育が目指すものを示すとともに、学校現場における具体的な方途（進むべき道、物事を実現・解決するための方法）を示したものです。前橋市の全ての学校における、その実態に応じた学校文化の創造のための確かな方向を示唆するものです。

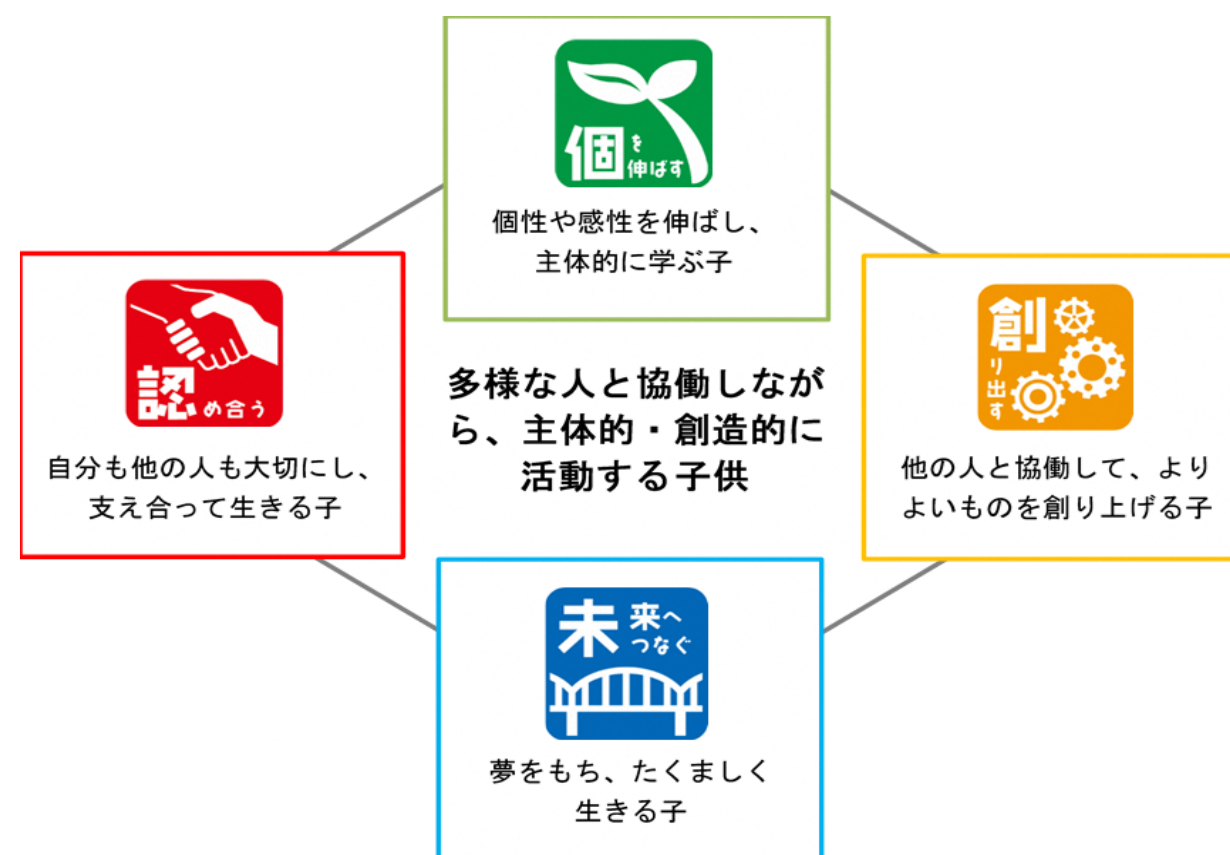
まえばし学校教育充実指針で目指す子供像

一人一人が様々な力を付け、それぞれのよさを伸ばし、自己肯定感を高めて主体的に生きていくことが大切です。また、様々な人と関わる中で人間性や社会性も育っていきます。

そして、集団の中で活動することで個の育ちが促進され、自信や生きる意欲、自立心なども育まれていくというように、子供たちの成長には、個の育ちと集団の中での育ちとがあり、実際の場面ではそれらが関わり合っていくものです。

本市では、教育・人づくりを「個を伸ばす」「認め合う」「創り出す」「未来へつなぐ」の4つの指針で捉えることとしました。そして、学校教育では、目指す子供像を「多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供」とし、そこに向かうために

- ① 個性や感性を伸ばし、主体的に学ぶ子
 - ② 自分も他の人も大切にし、支え合って生きる子
 - ③ 他の人と協働して、よりよいものを創り上げる子
 - ④ 夢をもち、たくましく生きる子
- という4つの具体的な姿を描きました。



【柱１】 学校力を高める学校経営

～学校教育目標の達成に向けたチームとしての学校づくり～

管理職のリーダーシップの下、「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、家庭や地域とも協働しながら、全教職員で取り組むことが「学校力」を高めるために重要であると考えています。そこで、この柱では、学校が教育の主体であることを基に、学校教育目標の達成に向けチームとして学校づくりを進めることが大切であると考え、５つの項目と１４の内容を位置付けました。

項目１ 一人一人がチームの一員として参画する学校づくりの推進



- (１) 充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組の推進
- (２) 実効性の高い学校評価と学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実践
- (３) 学校課題の解決に向けたチーム学校としての指導体制の構築と取組の推進

項目２ 学校間の連携と開かれた学校づくりの推進



- (４) 保幼小中のつながりを大切にした教育活動の推進
- (５) 保護者や地域住民との協働による学校運営の仕組みづくりの推進
- (６) ＰＴＡや地域の組織を生かした教育活動の推進
- (７) 地域の行事への参加や交流活動の推進

項目３ ニーズに応じた校内体制づくりの工夫



- (８) 一人一人を大切にした特別支援教育の充実
- (９) 組織的な生徒指導の充実

項目４ 教職員の資質・能力の向上



- (10) 実践的な指導力・経営力を高める校外の研修機会の活用
- (11) 指導力の向上を目指した校内の研修の充実
- (12) 学年学級経営案・教科経営案・自己申告書等を生かした自己研修の推進

項目５ 安全・安心な学校づくりの徹底



- (13) 学校の安全管理・環境衛生管理体制の充実
- (14) 関係諸機関と連携した危機管理体制の充実

【柱２】 魅力あふれる教育活動

～未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む特色ある教育活動の展開～

学校が最も力を入れて取り組むべきことは、日々の授業であり、未来の創り手となるために必要な資質・能力を児童生徒に育むための教育活動です。

そこで、本指針の２つ目の柱に「魅力あふれる教育活動」を位置付け、児童生徒が「学ぶ楽しさ」や友達と共に「活動する喜び」を獲得し、自ら進んで学び、活動する意欲を高め、自己有用感や自己肯定感を育むことのできる教育活動を推進する必要があると考え、４つの項目と１９の内容を位置付けました。

項目６ 学び続ける力の育成



- (15) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進
- (16) 学びの質を高めるＩＣＴ活用の推進
- (17) 体験活動を重視した学習の推進
- (18) 生きて働く知識・技能の習得を図る授業の工夫
- (19) 学校図書館を計画的に活用した授業の推進
- (20) コミュニケーションを図る楽しさを大切にする外国語教育の充実
- (21) 自ら探究する総合的な学習の時間の充実

項目７ 豊かな人間性の育成



- (22) 生き方の自覚を深める道徳教育の推進
- (23) 自他の大切さを認め合える人権教育の推進
- (24) 温かな人間関係を築く活動の充実
- (25) 自然を愛し、自然を守る心を育む教育の推進
- (26) 地域の偉人や歴史、自然や文化に触れ、郷土について学ぶ教育活動の推進
- (27) 集団や社会の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実

項目８ 健康増進・体力の向上



- (28) 運動好きな子供を育て、体力向上を図る取組の推進
- (29) 基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成
- (30) 食に関心をもち、健康な生活を実現する態度の育成

項目９ 自立性・社会性の育成



- (31) 自立性や社会性を育てるキャリア教育の推進
- (32) 自治的な能力を高める学級活動、児童会・生徒会活動の推進
- (33) 自己の役割を自覚し、最後までやり抜く態度を育てる活動の推進